Title

The 29th Spring Meeting 4/82, The Japan Society of Applied Physics and Related Societies, 4p-P-11, p. 593.

Priblished

April, 1982

Inventor(s)

Kunii et al.

Concise Statement

This research is related a solid phase epitaxial growth of a-Si from a single crystal substrate. Using H_2 and HCl gases for pretreating the substrate, it becomes possible to obtain a substrate having a clean surface which is sufficient for the solid phase epitaxial growth. Further, a crystallinity of the solid phase epitaxial growth is estimated.

1998年11月 6日(金) 17:08/朝17:02/双翻4801352007 2 70 1982年 (昭和57年)春季 中年2号证

第29回 応用物理学関係連合講演会 講演予稿集

		48	Q E	(月日	(木)		4月2日(金)				T	4月3日(土)				4月4日(日)			
_	•		ᇫ	4	年前		使	午前		4			午前 午 4			午前 年 10				
体		7)		·		1931 N	演工					1	····					1		
1	31	F 131	96	7.5 プラ オンプロ					N ピームと 337	6.1 有電 その応用	14-7'	6.1 荷温	350 11 - 7 9	VI 6.1 荷取 その近別	٤- ١٤	6.2 X 6.3 程 6.4 Mg	VI 東粒子線 子類景観	6.2 XX	VI 2枚子線 F顕微線 R分析 370	
粒	31	P 13:	135								·		, 	▽ 5.3 表面4			V	1 175	V	
	21	C F 622	195					5.2 PF	V MB 272	5.2 A	V 27	75.2 海	7	,			V	†	V	
	21	P 62	300	D (数基工: みとそ(753 アのサ 108年			1	n ズマイオ	6,5 77	/ ズマイ:	16.5 プラ	リ ズマイオ	5.2 暦 _ [V] 6.5 プラ	X71 *	u , ,,,	BR 43	75.2 🚎	B 30.	
号启	2 1	B 624	403	マ 健硬質が 型の具体	写黑作、				х	ンプロセ	×	,	7	ンプロセ: VI イオンを した深襲				(11.VI	接化合物	
		_		屋点	267			[WOCA1		l r	u	NAT.	4043	一	407			音とデ の応用	の姓品牌 パイスへ 745)	
	3 2	r ์ ₆₃₁	99						-	4.6 光導	独 19	4.7 光	レーザ駅 203	4.7 光·1	 # # 7 208	4.5 委長	[V = 26] ■レーザ			
	3 1	F 836	99		_		_			4.8 光検	v	1 1	228	IV 4.9 レー・ 国位体分月			[V 240		N 244 - ゲ 店用	
8	4 F	B 842	150	V 4.3 半 4.4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	体レー			4.3 半 湖 4.4	体レーザ	4.3 半 課 4.4	4レー・		, 体レーザ	V 4.3 华那(4.3 坐	IV B体レーサ	4.3 ¥3	IV I体レーザ	
9	4 F	843	150					9.3 pt 13	X # 762		~	9.2 転孔	-				I79 以 或及 777		X 版	
驗	SF	, ass	150									9.4 格子 9.5 金	欠贿	DX.	_		DX .		X	
	-	K						CA 32 B	142		v 25	9.6 数品	/91		795 35		80%		807	
	_	2 851 L					_	4.2 気体	V-4	4.2 気体	V-4	4.2 気体	レーザ	2.1 11 20 .	2. 2約至	2.1 21	超 41	2.1 1	到 46	
-	5 F	854						9.2 特点	成長 812	9.1 結晶 技術	工字第 7 81	10.2伪理	枝野 856	い技業が	Tass					
	3 F	, M 331	144					7.1 磁性 性体	材料・磁	7.1 選性 性体 7.2 選気 イス		7.8 高分· ジー	チレオロ 471	(圧電性高 (物性と応	97 0) ₩	7.6 按	VI 体 (子・粉体 478			
	3 F		143	VE 7.4 低温 クライオ トロニッ	技術・ エレク ク 411		1	7.4 低温 ライオエ ニック	技術・クレクトロ	7 4 75 43		V 7.4 低温 ライオエ ニック	技術・O レクトク	7.4 低温だ ライオエレ ニック	術・ク		Wi 技術・ク レクトロ		相 技術・ク レクトロ 445	
3	3 F	9 334	-															7.3 低温	<u> </u>	
8	4.5	9	144	8.1 华县	体 553			8.1 华 政 V		8. t 半頭 VI	ì	V		8.1 半新日 Val		.1 半3	(体 583	8.1 ¥2	体 588	
1	_	R 343	1 4 2	9.1 本盤 8.1 本盤	- 1			8.1 半導 V 8.2 半課	644	8.1 半課 W	64	8.1 半再	652	8.1 半部以 例 8.2 半部は	CCN.	.1 半型		8.1 半導		
殷	5 P	S 351		W 8.2 半選	体素子			va va	休里子	Y	i 体素子	B.3 华華(۱ ۱	9.2 平時日 VE 8.3 半導件	- 1		4	8.3 半期 8.5 音波	2 714 休安面	
	5 P	T 352	144		679				· ~	А	1		696	HE.	702		709 l l プラズマ 26	-0=	27	
	_	ט	143					5.4 光 4	720		72:	0.4 光 数		8.4 光 构	<u> </u>		1	1.2 放電 放動合	プラズマ 30	
4	5 F	353					_					Y	3	プラスチ 動検出器 の選歩と X	の最近					
9	3	PS F(≠) V		М								生後を送る工夫が	発にす) スター)	生徒を治りる工夫式	Rにす スター	生徒を る工夫	発にす パスター)	(生後を) る工夫。	説にす	
9	4 P	, MI		3.1 光	55			3.1 光	60	先学等会 3.1 光	第文章 ₆ 4	3.1 光	68	3.1 光 3.2 光情報	~L		79 何处理		1 54	
	4 P	x		3.1 光				3 <u>. 3 %: 2</u> X	823	X	<u>*11 天</u> 形型	3.3 光子	11 X	3.5 支示案	¥ 1153	.5 表示	•		-	
	_	A_ 861	-	3.4 投資	136		_	10.1店用	均理一般	10.3新分 Vi	印新技術	10.3新分9	事務技術	10.3新分野	新技術	生性を表	見にす) M46)	(生物を)	発にす	
君		1 P V-11 Z	140						 1	7.5 余人	5 24	7.5 杂山	530	VA 7.5 杂几質	5347	.5 杂品		7.5 杂品		
8	V	1 P V-12	210	VE 1.5 杂点	文 481			V 7.5 非品:		VI 7.5 ታልያ		VI 7.5 杂品1		VQ 7.5 完品仅	5037	.5 鬼	在 實 5(1)	7.5 奔品		

()はシンポジウム、分野名の右下の数字は予稿掲載ページ数。 ุ 諮询開始時刻は原則として午前9:00より,午後は13:00よりとする。

日: 昭和57年4月1日(水)~4月4日(日)

場:東 京 理 科 大 学

4 P			酒 半導体 (3.1 半導体) 9:00~17:00	
4 a	₽	1	Si 基版上への LiInSez 展音級作成と RBS 分析	
			法人工 °果山一男,松原昭仁、野岭孝明,上锋 硅	583
4 a	P	2	(Caxint):Sa 化合物の半導体特性	583
4 2	P	3	CVD-CulaS 三元清极の組成 。 宏下和维	584
	P		Culasse のバンド構造(I)一壁流域抗効果一	•
	_	•	東型大工,東亞大理工。 "此时祥司,竹内 "哒",这磺三郎,入江及三	584
4.2	Р	5	Culnuse のパンド構造(II)一派外吸収一	304
1	•	•	東理大理工",東理大工 "竹内 建",此时样可,边漏三郎,入江藻三	585
l			and the same of th	203
			休 .独 10:15~10:30	
4 4		6	M状半導体 GaS.Tes., の光学的エネルギーギャップ神奈川大工 。岩村保建 遠山 尤	585
4 a			層状化合物半導体 CdInGaS。の発光中心	586
4 a	P	8	CJ 蒸気中で熱処理された P形 CdTe の熱処理効果	
			神戸医尊,関西大王。"吉川敬治,原田芳広,横田陽弘",片山佐一。	586
4 4	P	9	Hgt-aCdaTe の液相エピクキシャル成及	
			三菱電機 LS 研 "火方亮二,是浜弘敦,西谷和雄,室谷利夫	587
4 2	P	10	HgiCd.Te エピクキシャル版の熱処理効果	
			三菱電機 LS 研 ° 是浜弘毅,大方亮二,西谷和雄,宝谷利夫	587
4 a	P	11	数小ギャップ半導体 Cd.Hgi-2Se における解性半の異常 …道工大,北大工* °熊崎豊次,阿部 夏*	588
			昼 食 12:00~13:00	
4 ~	D	1	プラズマ分解法による SOPS 腋の形成 皿 SOPS 膜の評価	
עי	•	•	マ大型工 * 高井裕司、米本和也、伊藤科次	588
4.5	P	2	プラズマ分解法による多結品 Si 胶(面)早大理工 "宮木 孝,楠瀬治彦,高井裕司,伊藤科次	589
	P		・	589
	P		レーザ加熱による Ge 薄膜の結晶化武蔵野道研 。 西岡 孝、篠田幸信,大町皆即	590
				290
4.0	r	. 3	類歐ラマン分光法による Si レーザーアニール商境界の評価 阪大工,三菱電機 LSI 研* "中島信一,大今 逃、吉原 凇,井上靖郎,三石明春	
			四村 正"、"福本华明"、赤坂洋一	590
4.0	P	5	ローザアニールした乡結島 Si の#-プロープ RHEED による資小領域結局評価	350
עי	•	٠	日立中町 『大倉 理、市川昌和、宮尾正信、徳山 議	591
4 5	P	7	Si イオン注入による Si 上涨者 Si の SiOz 上への機方向固相エピタキシャル成反	221
7 9	•	•	東芝起研 *大村八通、松下嘉明、柏木正弘	591
4.0	P	a	CW レーザによる酸化膜上シリコン単結晶の形成	391
٠,	•	•	三菱式牌中研,三菱式牌 LSI 研。"并须俊郎,须置原和之,西村 正",及尾繁雄",赤坂洋一"	592
				3,2
	_		休 憩 15:00~15:15	
4.9	P	9	レーザアニールによる多結品シリコンの単結晶化	500
	_		松下亚岛半研 有它公一。°布施玄秀,以山重信,吉野 便	592
4 P	P	10	レーザ育成した Si 島の評価(II) 単体 MOS リング発振器特性	593
	_		松下電器半研 "布施玄秀,西川敦夫,釘宮公一	593_
			CVD a-Si の固和エピクキシャル成長	777_
4 4	~	12	レーサー・ノニールはNicよる SUL 体企 MUS Trs の存在	594
	_		日立中研 。宮尾、大倉、竹本、田村、徳山	594 594
			ドーナッ型ピームによる PolySi の単結晶化・富士通 IC 。河村鉱一郎、桜井潤治、中野元雄	334
4 9	r	14	CW レーザーによる Lateral Epitaxial Growth (Cap 級区効果) 富士通 IC *桜井潤治,河村誠一郎,中野元進	595
			——————————————————————————————————————	373
4 p	r	13	CW レーザーによる島状構造のポリシリコン再結晶化 (直)石英基版での MOS-Tr 試作 三菱電機 LSI 研,三菱電機生研。 *図村 正,赤坂洋一,松木隆夫*,石津 顕。	595
_			二是电视 151 时,三是电似正可。 257 正,亦欢作一,在本庭天 ,石中 和	
1 (1		2 2 3 4 (8.1 半導体) 9:45~11:45	
1.	۵	. 1	プラズマ分解法による Si-Ge アロイのエピタキシャル収長(皿)	
• •	-	•		596
	0	,	早大理工 "大竹久雄、伊藤昭男、伊藤科次、大泊 数 2 西精造における第1 Poly-Si のリン遺皮の検討	390
• •	~	·	→ では では できます できます できます できます で で で と で と で と で と で と で と で と で と で	596
				370
			休 憩 10:15~10:30	
1 4	Q	3	P及び Bの酸化による増速拡散のポリシリコン設厚仮存性	
			沖電気電子デバイス事業部 西 謙二,。坂本孝一,打保佑右	597
1 4	Q	4	半絶縁性 Poly-Si の深い準位からのルミネッセンス	
1			阪大基韓工 "蘋原原文,中山 弘,大塚健一,西野殖夫,浜川圭弘	597
1.4			半絶縁性 InP:Fe の OTCS 測定阪大基礎工 "十代勇治,"弓場受彦,稍生健次,難波 進	598
l a			イオン照射による [nSb の表面応張 電路研 °金山敏彦,蓮定広幸	598
1 4	Q	7	ポロンフォスファイド (BP) の熱電性能指数電通大 『鴻郷成苑』行実重利。木村忠正	599
1				

. **@**

松下电流产業株式会社 手等从证实所

"南边东东 面明我走 舒宏公一

「(Jin))前回、紀城東ににレーザ首成ににSi(LG-Si)為の評価と報告にに? 今日代 **111、レーザ照料で自成しに微細り掲子状のよう高に形成したSi デートMOS素子。及 1101段リンプ発展品の電気特性について報告する。

『(実験条件) 1 μ内酸化脱三a LG-Si 島に、VE利御の鳥、巨東テには、0.5~1×10° · B/cm: D東デには、0.4-1.2×100P/cmの注入を行りった、その後(100)とに500月の |敵比較も形成すり条件(1000°C dig O. 40分)ずザート酸比較も形成しに。リースドレイ ン11. Pit 4=10 cmi 注入し、1000 C 20分入熱利用を加えに、

#! (解果) 団111. チャンネルにへんちゃ10mg/mitxとに巨糸テカ、団とはこちゃ10mg/mi 『・4×10"P/cm*を注入した日来よの符件をそれぞれ示す。とりに良好け特にを示している で、 E乗子(1基株学遊の特徴であるKinKを示す。最小す法が(= 3/05(ym)の短ナマ これル東をは、国1に示すものより約10低い足で動作している。足は本実験条件内では レーザ出力が大さし、ビームを拡大した以射の領域経バラツキが減少し、のつ高しいり、 バルク単結晶での値に近づく、易砂塩に、甲輪脂の約つ50~1/レスに対して100~400 いけいいていに、これは、不自準性宝度や結晶方位の違い、及び、チャンネル中の結晶 図2 L/w=が、zyan) D-MOS 位界の挙動、レーザダメージにより強い欠陥者の違いがこのような特性のバラツキを生じ

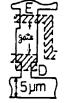
「リング機能の1段の構造を図すに、その特性を図4に示す。tpd=500psec であり、 な発表**1:比ベナマンネル長以大から割は商速である。Voo=14レで第5両調液発張して いろと考えられ、必ずしも正常とけ、えてい、正常動作(Voor 11から発振)より高い電 正(n発版(あり、関か114.8mW/股と非常に問い、これは Vini低(17・1、EMONの

01段の中に数個存在する為と考えられる。 1) 钉岩区 促进中会技研银音中10.3%(1982) 2) M Fukumoro ald. VLSI SYMP. P28(1981) 图3, 727年报法法



11 L/w = 1/23 ()=) E-HOS







場合SPEは起こらない。これはHz のSiOzエッチング建度

か 1000C以下では急激上減少1 白灰醋が暖がた云されないた

めである。またHCI具理は軽いSiエッキングによりイ税物(

強定,窒素等)の表面吸着を防止する効果を持つと考えられ

る。HCI処理無し或いは不十分なHCT処理ではSPEは起こ

らない。これは仏温で激しくなる不純物吸着が界面汚染にフ

RBSの測定をしていただいた中田研究主任に悲楽します。

1) Csepregi et al; J.A.P. 49 (1978) 3906

2) Saitch et al; J. J. A.P. 20 (1981) L 130

图4 克提特红

4p-P-11

CVD a-Siの同相エピタキシャル成長

日本電信電話公社 武威宁電気通信研究所

国代泰夫 田舒道的 抚山健二

北序 a-Siの基板単結晶からの固相エピ成長(SPE) は関しては、イオン主人a-Si或いは真空無着a-Siについ 1後来から研究されている。1,20しかに現在までの所CVDa-Si UTUTSPEを実現した例はない。これは清浄なα-Si/ 主版Si 不面の形成がCVDが中では私めて困難であることに 劇団する。松々は基板前処理用としてH2 およびHClが入を 用い、各々のガスの役割を明確化することによって SPEが す能な清浄界面を得た。またSPE後の結晶性を詳細した。 <u>2. 東駅方法</u> - 基版には (100)Siヴェハモ、CV D炉には枝 皇高周波伊を用いた。後述のように適切な前処理は次の条件 Tiある。1100°C2分間のH2 処理をした後、Q-Si堆積温度 まて温度降下させる。HCI 処理は温度降下開始からSi塊積前 までキャリヤ·ガスにHCIを0.1%流して行なう。以上の前処 翌ELた後、堆模温度~550℃, SiH4 分圧~ 6×10⁻³azm, Ar キャリヤ·ガスの条件でα-Siz連模する。(目1) 3. 実験結果・考察 2.の工程で数成したCVDa-Si/Si 豆 (100) Eアニール (600°C in N2) Lた所教+A/minの成長速 度でSPEが起こり、60分アニールではパルク車結晶と同 一のRBSチャネリングスペクトルをホすエピ層が形成され た。(図2) RHEEDでは南地パターンが観覚された。

1100℃H1 処理は基板表面の自然酸化膜と原立する効果を

符P。他の条件を固定してHz 処理温度を900℃以下にした

图1. 工程

なかることを不唆している。

〈神辞〉

〈参考文献〉

国ス、RBS+ャネリング・スペクトルの変化